

2024 年度 事業報告書

自 2024 年 4 月 1 日
至 2025 年 3 月 31 日

公益財団法人 国際宗教研究所

東京都中野区白鷺 2-48-13

TEL: 03-5373-5855

FAX: 03-5356-7525

I. 法人の概況

1. 設立年月日

昭和 29 年（1954 年）5 月 4 日

平成 25 年（2013 年）4 月 1 日 公益財団法人へ移行

2. 定款に定める目的

この法人は、国内外の諸宗教を研究し、それらの相互理解と国際的理解の増進を図り、もって文化の向上発展と世界の平和及び人類の福祉に貢献することを目的とする。

3. 定款に定める事業

- (1) 国内外の宗教の調査研究とその助成
- (2) 宗教文化の振興に関わる調査研究及び普及啓発
- (3) 国内外の宗教者及び宗教に関心を持つ人のための情報提供と相互交流の促進
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

内閣府

5. 賛助会員の状況

	2024 年 3 月 31 日現在 会員数	2025 年 3 月 31 日現在 会員数
賛助会員	43	43
個人会員	41	37
RIRC 協賛会員	11	13
合計	95	93

6. 主たる事務所

東京都中野区白鷺 2-48-13 （公財）国際宗教研究所

従たる事務所

東京都杉並区和田 1 丁目 5-12 RE ビル 1F 宗教情報リサーチセンター

7. 役員等に関する事項（2025 年 3 月 31 日現在）

- (1) 理事・監事等 ※理事、監事等の常勤・非常勤の別：全員が非常勤である

役職	氏名	現職
理事長	島 蘭 進	大正大学客員教授
所長	山 中 弘	筑波大学名誉教授
常務理事	井上順孝	國學院大學名誉教授
常務理事	三 木 英	相愛大学客員教授
常務理事	弓山達也	東京科学大学教授
常務理事	西 村 明	東京大学教授
理事	星 野 壮	大正大学准教授
理事	松本久史	國學院大學教授
理事	八木久美子	名古屋外国語大学教授
監事	矢野秀武	駒澤大学教授
監事	池田奈津江	弥生神社権禰宜

以上、11 名

- (2) 評議員 ※評議員の常勤・非常勤の別：全員が非常勤である

役職	氏名	現職
評議員	猪瀬優理	龍谷大学教授
評議員	石上和敬	武蔵野大学教授
評議員	桐ヶ谷章	（公財）東洋哲学研究所顧問

評議員	小林正道	学校法人芝学園理事長
評議員	佐々木裕子	白百合女子大学教授
評議員	高橋典史	東洋大学教授
評議員	庭野光祥	立正佼成会次代会長
評議員	藤本頼生	國學院大學教授
評議員	本山一博	玉光神社宮司

以上、9名

(3) 顧問 ※顧問の常勤・非常勤の別：全員が非常勤である

役職	氏名	現職
顧問	浅山雅司	神社本庁総合研究所研究部長
顧問	石井研士	國學院大學教授
顧問	板井正斉	皇學館大学教授
顧問	大滝晃史	(公財) 新日本宗教団体連合会事務局長
顧問	大谷栄一	佛教大学教授
顧問	岡野正純	孝道教団統理
顧問	斎藤謙次	松緑神道大和山総合研究所所長
顧問	櫻井治男	皇學館大学名誉教授
顧問	塩尻和子	筑波大学名誉教授
顧問	篠原祥哲	(公財) 世界宗教者平和会議 (WCRP) 日本委員会事務局長
顧問	下田正弘	武蔵野大学教授
顧問	白木原嘉彦	天理教本芝大教会長
顧問	神 仁	臨床仏教研究所所長
顧問	菅 浩二	國學院大學教授
顧問	田澤清喜	松緑神道大和山教主
顧問	月本昭男	上智大学名誉教授
顧問	戸松義晴	浄土宗総合研究所副所長
顧問	中野 毅	創価大学名誉教授
顧問	中牧弘允	吹田市立博物館特別館長
顧問	西岡和彦	國學院大學教授
顧問	西川勢二	真如苑教務長
顧問	庭野統弘	立正佼成会主席
顧問	萩本直樹	創価学会主任副会長
顧問	橋本雅史	中央学術研究所所長
顧問	深田恵子	円応教恵主
顧問	藤本拓也	金光教国際センター次長
顧問	藤原聖子	東京大学教授
顧問	星野英紀	大正大学名誉教授
顧問	細田あや子	新潟大学教授
顧問	水谷 周	(一社) 日本宗教信仰復興会議代表理事
顧問	三宅善信	金光教春日丘教会教会長
顧問	宮本恵司	妙智會教団法嗣
顧問	村上興匡	大正大学教授
顧問	力久道臣	善隣教教主
顧問	渡辺和子	東洋英和女学院大学名誉教授
顧問	渡邊直樹	大正大学客員教授
顧問	渡辺雅子	明治学院大学名誉教授

以上、37名

(4) 職員に関する事項

主たる事務所 (国際宗教研究所)	5名
従たる事務所 (宗教情報リサーチセンター)	10名

以上、15名（1名の専任職員を含む）

II. 事業の状況

1. 宗教情報リサーチセンター（RIRC）の運営

(1) ホームページ公開情報の更新

ホームページで公開している下記の情報を新たにアップロードした。

- ・国内記事年表アップロード（2024年1月～2024年12月分の記事分）
- ・国外記事年表アップロード（2024年1月～2024年12月分の記事分）
- ・2024年度に刊行された『ラーク便り』に掲載されている研究論文・小特集4点を執筆者の了解を得た上でPDFファイルとしてアップロードした。
- ・『ラーク便り』記事をデータベース化してアップロードした（2021年12月分まで）。
- ・宗教系学校のリンク集の修正
- ・オンライン事典である『教団刊行物デジタル事典』を2024年11月に公開し、50点の刊行物についてRIRC研究員と元RIRC研究員が概要紹介した。

(2) 来所会員への対応

RIRCに来所した会員、一日会員、その他協賛会員より紹介のあった見学者に対し、記事検索、情報収集アドバイスなどを行った。

(3) 研究員会議

事業内容改善のための研究打ち合わせ会議を2024年8月3日と12月24日にハイブリッドで実施した。

(4) シンポジウム開催

2025年3月25日（土）に佼成図書館視聴覚ホールで「オウム真理教問題の深層—地下鉄サリン事件から30年」をテーマとするシンポジウムを限定公開で実施した。参加者は46名。

第1部は「RIRCの蓄積をどう活かすか」のテーマで3人が発題し、その後全体討議が行なわれた。

塚田徳高・元RIRC研究員「RIRCがオウム真理教事件・問題について発信してきたこと—2つの論集とラーク便り」

藤田庄市・元RIRC研究員「司法が避けた宗教的動機解明への一級資料—法廷資料、手記の価値と利用の展望」

井上まどか・元RIRC研究員「ロシアのオウム真理教資料の意義と活用可能性—研究・教育・社会への貢献」

第2部は「複雑化する情報環境を踏まえ」のテーマで3人が発題し、その後全体討議が行なわれた。

大道晴香・国学院大学准教授「SNS時代の宗教情報—授業課題から見える大学生の認識について」

土井裕人・RIRC研究員「大学の宗教学教育における宗教情報—オウム真理教と宗教二世の問題を中心に」

藤井修平・RIRC研究員「陰謀論とフェイクニュース—その受容メカニズムと対策を考える」

第1部、第2部とも司会は井上順孝・RIRCセンター長が務めた。

(5) RIRCチャンネルでの発信

2021年12月に開設したYouTubeの「RIRCチャンネル」に、2024年4月から2025年3月まで各15分～20分程度の動画を下記のタイトルで12本をアップロードした。

- ① モディ首相がアヨーディヤーのヒンドゥー教寺院落成式参列～現代に息づくヒンドゥー教の神々～「宗教ニュースを読み解く」No.31
- ② シノドスに2人の日本人女性参加～世界を見渡すローマ教皇～「宗教ニュースを読み解く」No.32
- ③ 鶴岡八幡宮が単立神社～包括宗教法人としての神社本庁～「宗教ニュースを読み解く」No.33
- ④ 神道修成派が教主職を新設～教派神道の多様性～「宗教ニュースを読み解く」No.34
- ⑤ 「他力本願知事」の表現に浄土真宗が抗議～仏教語の誤用と意味変容～「宗教ニュースを読み解く」No.35
- ⑥ 台湾でカルマを信じる人が87%との調査報告～多様な台湾の宗教状況～「宗教ニュースを読み解く」No.36
- ⑦ 立正佼成会大聖堂建立60周年～仏教系新宗教と法華経～「宗教ニュースを読み解く」No.37
- ⑧ 南島原市で木彫りの聖マリア観音像落成式～日本における政教分離の境界線～「宗教ニュースを読み解く」No.38

- ⑨ 金光教第5代教主の教葬～新宗教における教祖の継承者～「宗教ニュースを読み解く」No.39
- ⑩ 米国レイジアナ州の公立学校で十戒の掲示を一時差し止め～キリスト教福音派の政治的影響～「宗教ニュースを読み解く」No.40
- ⑪ 尹大統領の戒厳令を韓国基督教教会協議会が批判～韓国大統領とキリスト教～「宗教ニュースを読み解く」No.41
- ⑫ ジャカルタでモスクと大聖堂を結ぶ地下通路開通～インドネシアにおける宗教交流～「宗教ニュースを読み解く」No.42

(6) 寄贈資料の整理

寄贈を受けた書籍、映像資料等をデータベースに登録

(7) X（旧ツイッター）による情報発信

「宗教・今日は何の日」というテーマで、主に21世紀に入ってから、その日に起こった宗教関連の出来事を研究員が週に複数回紹介。

「センター長注目ニュース」及び「研究員注目ニュース」で、最近の国内外の注目すべき宗教ニュースを週に複数回紹介。

その他、国際宗教研究所の事業、連携機関の企画、研究員の論文刊行や学会発表、元研究員の著書刊行、ラーク所蔵資料なども紹介。

英文でも発信した。

(8) 教団データベースの更新

RIRC 設立時に作成した教団データベースの全面的改訂を RIRC 開設 25 周年の記念事業として行ない、2024 年秋に更新されたデータを新たな形式で公開を開始した。

2. 公開講座の開催

(1) 2024 年度公開シンポジウム

国際宗教研究所主催公開シンポジウム

「宗教から見る中東の戦争と平和——国際紛争の宗教的要因と和解への道」

日時：2025 年 2 月 15 日（土）13 時～17 時 30 分

会場：東京大学本郷キャンパス法文 2 号館 1 番大教室（東京都文京区本郷 7-3-1）と、Zoom による配信を併用したハイブリッド開催

発題者

① 山本健介（静岡県立大学国際関係学部講師）

② 加藤喜之（立教大学文学部教授）

＊加藤氏は当日欠席。藤本龍児氏（帝京大学文学部社会学科教授）が原稿代読および発題。

③ 犬塚悠太（東京大学大学院博士課程）

コメンテータ

① 松井ケティ（清泉女子大学地球市民学科教授）

② 大河内秀人（特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン代表理事）

司会 山中弘（筑波大学名誉教授・（公財）国際宗教研究所所長）

参加者数 217 名（対面 89 名、オンライン 128 名）

(2) 「生と死」研究会

国際宗教研究所・東洋英和女学院大学死生学研究所共催 2024 年度「生と死」研究会シンポジウム
「死別と死者との絆——悲嘆のプロセスをめぐって」

日時：2024 年 10 月 19 日（土）14 時 40 分～17 時 50 分

会場：Zoom によるオンライン開催

発題者

① 長谷川（間瀬）恵美（桜美林大学人文学系 LA 学群准教授）

② 坂口幸弘（関西学院大学人間福祉学部教授）

コメンテータ

① 富沢かな（東京大学大学院人文社会系研究科准教授）

② 弓山達也（東京科学大学教授・（公財）国際宗教研究所常務理事）

司会 奥山倫明（東洋英和女学院大学教授・死生学研究所所長）

参加者数：52名

3. 刊行物の発行・紹介等

(1) 『国際宗教研究所ニュースレター』の発行（2回）

① ニュースレター100号（2024年6月25日）

・賛助団体紹介（23）妙智會教団 鈴木裕治理事

・第19回（公財）国際宗教研究所賞奨励賞受賞記念文

研究所賞 村津蘭（東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所助教）

奨励賞 杉江あい（京都大学 大学院文学研究科・文学部講師）

・（公財）国際宗教研究所主催シンポジウム報告

② ニュースレター101号（2024年12月25日）

・賛助団体紹介（24）日蓮宗現代宗教研究所 赤堀正明所長

・特集記事「地域社会と多文化共生——その光と影」

三木英（相愛大学人文学部客員教授）「信仰を介したニューカマーたちのコミュニティの現在」
対談

滝澤克彦（大阪経済大学国際共創学部教授）／徳田剛（大谷大学社会学部准教授）

司会 西村明（国際宗教研究所常務理事・東京大学大学院人文社会系研究科教授）

(2) 『現代宗教』の編集・刊行

『現代宗教 2025——特集：宗教の自由と政教分離』（HPにて公開。3月中の刊行を予定していたが、作業の遅れにより最終的に2025年4月に刊行）

① 対談「現代アメリカからみる「法の支配」と宗教—新たな「宗教の自由」の広がり立憲体制—」

駒村圭吾／松本佐保 司会：島藺進

② 中野毅「政教分離制度下における創価学会の政治参加—宗教的自由の範囲と限界を考える—」

③ 佐藤清子「政教分離か「歴史」「伝統」としての宗教か—アメリカ合衆国の教育をめぐる攻防—」

④ 対談「日本におけるカルト宗教問題と信教の自由」

郷路征記／櫻井義秀 司会：弓山達也

⑤ 岩崎真紀「日本における大学の礼拝スペースからみる信教の自由と政教分離

—ムスリム学生への対応を事例として—」

⑥ 鈴木彩加「ジェンダー平等政策と宗教／政治運動—新宗教に着目して—」

⑦ 奈良雅史「政教分離のパラドクス—中国に生きるムスリム・マイノリティの事例から—」

⑧ 対談「何のための政教分離なのか—フランスのセクト規制法が逆照射する日本—」

齊藤小百合／金塚彩乃 司会：田中浩喜

⑨ 小川忠「政教分離」原則下の「政教接近」

—インドネシア、タイ、スリランカの宗教ナショナリズム—」

⑩ 高瀬航平「大日本帝国憲法（1889年）における信教の自由—法律の留保を巡る起草過程と解釈史」

⑪ 現代宗教動向 牟禮拓朗「新興民主主義国家でイスラーム主義政党はいかなる役割を果たしたか—「アラブの春」後のチュニジア・エンナハダの事例から—」

⑫ 現代宗教動向 犬塚悠太「10月7日」以降のユダヤ教徒—宗教指導者・政治家の動きを中心に—」

(3) 『ラク便り—日本と世界の宗教ニュースを読み解く』の発行（4回）

① 第102号（2024年5月31日）

② 第103号（2024年8月31日）

③ 第104号（2024年11月30日）

④ 第105号（2025年2月28日）

(4) その他

『死生学年報 2025』（2025年3月、ヨベル）の紹介

4. 国際宗教研究所賞の授与

第20回（公財）国際宗教研究所賞・受賞者及び受賞業績

研究所賞 該当作品なし

奨励賞

谷憲一『服従と反抗のアーシュラー：現代イランの宗教儀礼をめぐる民族誌』（2023年、法政大学出版局）

玉置文弥「近現代日中におけるアジア主義・超国家主義と「民衆宗教」
—大本教と道院・世界紅十字会の連合運動—」（2024年、東京工業大学博士学位論文）

5. 役員会に関する事項

名称	開催年月日	決議事項等
第1回理事会	2024年5月27日	① 2023年度事業報告
		② 2023年度収支決算報告
		③ 定時評議員会の日時、会場ならびに目的である事項
		④ 「原稿料および講演料等の謝金支払に関する規則」の改正について
定時評議員会 (書面による決議の省略)	2024年6月20日	① 2023年度事業報告
		② 2023年度決算報告
		③ 新理事選任
		④ 新評議員選任
第2回理事会	2024年6月26日	① 理事長（代表理事）の選定について
		② 常務理事（業務執行理事）の選定について
		③ 所長の選定について
		④ 宗教情報リサーチセンター（RIRC）センター長の選定について
		⑤ 顧問の選任について
第3回理事会	2025年3月12日	① 2025年度事業計画（案）
		② 2025年度収支予算（案）
		③ 資金調達及び設備投資の見込み（案）
		④ 顧問の選任について
		⑤ 事務局長の選任について
		⑥ 経理規程の改正について
		⑦ 国際宗教研究所賞規程の改正について
		⑧ RIRC就業規則の改正について

＜附属明細書の作成について＞

2024年度事業報告に関しては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので、附属明細書は作成しておりません。